

## 東京都江戸東京博物館紀要 第14号

### 目次

- アルノルドゥス・モンタヌス著『東インド会社遣日使節紀行』における言葉とイメージ  
— 館蔵オランダ語版を手がかりとして …………… 瀧 良介 1
- 【資料紹介】『科学遊具と自作』  
— 建築家中村與資平と児童科学教育会の活動について …………… 鳥越千尋 25
- 【資料紹介】デ・ラランデ邸（旧三島邸）の工事過程で発見された資料について … 早川典子 41
- 郷土史料写真社 永江維章について …………… 渡邊 華 51
- 【資料紹介】江戸東京博物館蔵永江維章関係資料について …………… 宮本花恵 61
- 【資料紹介】錦糸公園の誕生と館蔵の関係資料について …………… 田中実穂 77
- 【事業報告】江戸東京博物館第I期映像音響システム改善（リニューアル）  
— 経過と課題 …………… 友野千鶴子 95

表紙図版：「皇帝の玉座」（将軍謁見図）モンタヌス『東インド会社遣日使節紀行』（英語版）挿絵 1670年 館蔵91210471  
オランダ東インド会社の進出を機に、17世紀の西欧では様々な日本関連書籍の出版を見た。アルノルドゥス・モンタヌスの著した『東インド会社遣日使節紀行』、通称『日本誌』もその一つ。本書は特に多数の挿絵で知られ、うち一部は単独の銅版画のかたちでも伝わる。本資料は、そのうちさらに手彩色を施したもの。伝聞情報を頼りに、徳川将軍との謁見の場を表す。後に実際に日本を訪れ、網吉への謁見も果たしたケンペルは、本図をはじめ本書の挿絵が空想の産物であると批判している。それでも本書は、西洋人の日本像を長きにわたって規定した。  
当資料については、瀧良介「アルノルドゥス・モンタヌス著『東インド会社遣日使節紀行』における言葉とイメージ—館蔵オランダ語版を手がかりとして」を参照されたい。

表紙の地紋は、当館所蔵の国指定重要文化財「萌葱練縦地菖蒲花文小紋染胴服（徳川家康着用）」（98200135）の小紋紋様をもとにしたものである。  
尚、本紀要において8桁の算用数字表記がある場合は、特に断りがない限り館蔵資料番号を表すものとする。

Bulletin of the Edo-Tokyo Museum, No. 14

CONTENTS

Words and Images in Arnoldus Montanus's *Gedenkwaerdige Gesantschappen* :  
A Study of the Dutch Edition in the Edo-Tokyo Museum Collection  
..... TAKI Ryōsuke 1

[Introduction of Materials] *Kagaku yūgu to jisaku* (Scientific Toys and Self-Making) :  
Architect Nakamura Yoshihei and the Activities of the Jidō Kagaku Kyōikukai  
..... TORIGOE Chihiro 25

[Introduction of Materials] Materials Discovered during the Construction of the House of  
Georg de Lalande (former Mishima Residence)  
..... HAYAKAWA Noriko 41

On Nagae Ishō of the Kyōdo Shiryō Shashinsha  
..... WATANABE Hana 51

[Introduction of Materials] Materials Related to Nagae Ishō in the Edo-Tokyo Museum  
Collection  
..... MIYAMOTO Hanae 61

[Introduction of Materials] The Birth of Kinshi Park and Related Materials in the Museum  
Collection  
..... TANAKA Miho 77

[Project Report] Edo-Tokyo Museum Visual and Audio System Improvements (Renewal)  
Phase I - Progress and Challenges  
..... TOMONO Chizuko 95